

◇2学期がはじまりました

猛暑の夏が過ぎ、2学期がスタートして2週間が経ちました。学校生活のリズムを取り戻し、落ち着いて学習に向かえるようになってきた頃でしょうか。

今学期は10月の文化祭のほかにも、遠足や陸上大会、他校との交流会など、イベントが盛りだくさんです。行事の準備などで忙しくなりますが、健康管理をしっかり行い、元気に乗り切っていきましょう。

さて、補聴器や人工内耳の調子はいかがでしょう。夏場の汗や湿気は機器の大敵です。もし聞こえにくさや不調を感じる場合は、業者さんへの相談や、学級担任を通じた聴能担当への連絡をお願いします。まだ暑い日が残りますので、毎日の汗の拭き取りや乾燥などのお手入れを続けていきましょう。



故障を防ぐには、日頃のお手入れが欠かせません！

- 補聴器や人工内耳は、汗などをよく拭き、その後で電池室を開けたり、電池を外したりする。
 - 電池は取り出してよく拭く。(電池の入れっぱなしは、サビの原因にもなります。)
 - 乾燥ケースや乾燥器に入れる。(乾燥剤の使用期限等を確認する。)
 - 室外の暑さと冷房の効いた部屋の気温差で、補聴器内に湿気が生じやすいので、チューブ内の水滴に気をつける。
- ※聞こえ方がいつもと違うときには、補聴器や人工内耳のトラブルが発生しているかもしれません。すぐに対応しましょう。また、お子さんが、自分の聞こえ方について十分に説明できない年齢の場合、お家の方が、試聴チューブなどを使用し、補聴器の音のチェックをしてください。人工内耳の人にもモニタイヤホンで時々聞いてみましょう。

◇夏のきこえ相談会を行いました

今年度も夏季休業中に、恒例の「夏のきこえ相談会」を開催いたしました。期間中、多くの方々にご来校いただき、きこえに関するさまざまなご相談にお応えすることができました。

今後も「きこえ相談会」が皆様にとって気軽に相談できる場であり続けられるよう、より充実した運営に努めてまいります。

◇お願い

夏休み中に販売店で補聴器の点検や修理を受けた人、または病院(耳鼻科)で検査を受けた人は、点検票や連絡票などを学級担任に提出してください。

また、点検がお済みでない人はこれからでもかまいません。点検が終わりましたら、同様に書類の提出をお願いいたします。

◇災害への備え、大丈夫ですか？

9月1日は「防災の日」です。熊本地震をはじめ、各地で頻発する豪雨や河川の氾濫など、大規模な災害はいつどこで発生するか分かりません。

この機会に、非常用持ち出し袋の点検や備蓄品の期限チェック、ハザードマップを使った避難場所・避難経路、ご家族間の連絡方法を改めて話し合ってみてください。

NHK が公開している聴覚障害者向け非常用持ち出し袋の中身を改めて紹介します。

聴覚障害者の非常用持ち出し袋

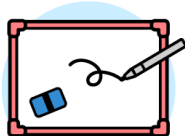
NHK

災害時に自分に必要なものを準備しておきましょう

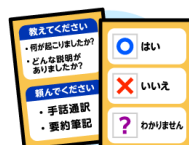


耳マークバッジ

持ち出し袋につけておきましょう



携帯用ホワイトボード・マーカー



コミュニケーション支援ボード



防災ホイッスル



ランタン・ヘッドライト
ペン型ライトなど照明

暗い場所でも文字 顔や口元
手話や状況を把握するため



補聴器や人工内耳の
予備電池

ふだん使っている機器の
専用電池の予備



モバイルバッテリー

音声認識アプリや
電話リレーサービスなどで使う
スマホの充電用



ヘルプカード

必要な支援だけでなく
自分ができることも記入

◇公共施設で導入が進む「透明ディスプレイ」

昨年秋に開催された「東京 2025 デフリンピック」をきっかけに、今あらためて注目を集めているのが「透明ディスプレイ」です。

向こう側が透けて見える画面越しに話すと、話した言葉がリアルタイムで文字（字幕）になって表示されます。紙やスマホを使う筆談と違って手元に視線を落とさずに済むため、お互いの表情や顔を見ながら自然に会話できるのが大きな魅力です。キーボードでの文字入力や翻訳機能も備わっており、より安心でスムーズなやりとりができます。

現在は東京都庁や羽田空港などの公共施設で導入が進んでいるほか、新潟県内でも月岡温泉の旅館などで活用されている例があります。

こうした便利な工夫がさらに広がり、地元の役所や病院など身近な窓口でも気軽に使えるようになると嬉しいですね。お出かけや旅行の際に見かけたら、ぜひその使い心地を試してみたいかがでしょうか。

